



と しょ かん かい けつ 図書館で解決！？ 第22号

図書館で調べ物をしてみませんか？

堺市立図書館
平成22(2010)年9月9日

美原を知る(古代～昭和)

堺市立図書館を
ご利用の
みなさまへ

いつも図書館をご利用いただき、ありがとうございます。

堺市立図書館では、市民のみなさんが図書館の本を学習や、課題解決に役立てていただけるよう、身近なテーマで「図書館で解決!？」を発行しています。

美原の由来

昭和 31(1956)年、町村合併促進法に基づいて、黒山村、丹南村、平尾村の三村が合併して美原町が誕生しました。『美原町史』第1巻には、「黒山、平尾、丹南村は平地にあるので“三つの原”の意味から『三原町』という提案もあったが、他府県に同じ名称があるので音*を変えて『美原町』となった」(p1108)と記されています。

[*註:「音」=「表記」の意味かと思われる]

●堺市立みはら歴史博物館(M・C みはら)

「河内鑄物師」の活躍の様子や黒姫山古墳の出土甲冑などを展示しています。
<http://www.city.sakai.lg.jp/hakubutu/mcmihara/>

平成 17 年 2 月、堺市と美原町が合併、翌 18 年 4 月の区制への移行に伴い、美原区となりました。古くから交通の要衝であった美原には、国指定の史跡である黒姫山古墳をはじめ、見どころがたくさんあります。地域にまつわる物事や著名な人物を、時代を追っていくつか紹介します。美原について知りたい人も、ふるさと美原を再発見したい人も、この地域の歴史と文化に触れてみてください。

くろひめやまこふん 黒姫山古墳(古代)

美原区黒山にある全長 114m の前方後円墳です。後円部の埋葬施設が盗掘にあっているため、被葬者は明らかではありません。当時この辺りを支配していた豪族、丹比氏の首長という説が有力です。前方部中央の石室からは24もの甲冑が出土しました。日本では最多の出土量で、1957 年に国指定文化財になっています。

『黒姫山古墳とその時代』美原町立みはら歴史博物館／編 美原町立みはら歴史博物館 2003

かわちいもじ 河内鑄物師(中世)

鑄物師とは鑄造技術者のことです。中世の美原地域には多くの鑄物師が住んでいました。彼らを河内鑄物師といいます。美原町やその周辺から多くの鑄造関連遺跡が見つかっています。彼らは梵鐘などの仏具から鍋や釜などの生活必需品まであらゆる鑄物を作りました。12 世紀から 13 世紀にかけて鑄造された梵鐘の 6 割が河内鑄物師の作品であるといわれています。

『河内鑄物師の歴史と技術』美原町教育委員会 1986

美原町政施行 30 周年を記念した、研究者による講演会の記録です。

『河内鑄物師—そのルーツから現在まで』堺市立みはら歴史博物館 2005

平成 17 年秋季特別展資料。丹治姓鑄物師の作品一覧、作品分布図がついています。

「河内鑄物師とその活躍」(『美原町史』1巻 美原町 1999)

あかねこ 赤猫(近世)

赤猫とは、半夏生(太陽暦の7月2日頃)のころに作られた名物の小麦だんごのことです。小麦のだんごを黒砂糖をいた甘汁につけ、きなこをつけて食べます。その茶褐色の色合いが名前の由来かといわれていますが、はっきりしません。

『ふるさとの年中行事』美原町郷土研究会 1978

美原町郷土研究会が地域の古老を訪ね、美原地域に伝わるしきたりなどをまとめたものです。



堺市立図書館一覧

中央図書館

〒590-0801 堺区大仙中町 18-1
TEL244-3811

堺市駅前分館

〒590-0014 堺区田出井町 1-1-300
TEL222-0140

中図書館

〒599-8273 中区深井清水町 1426
TEL270-8140

東百舌鳥分館

〒599-8234 中区土塔町 2363-23
TEL234-9600

東図書館

〒599-8123 東区北野田 1077
TEL235-1345

初芝分館

〒599-8116 東区野尻町 221-4
TEL286-0071

西図書館

〒593-8325 西区鳳南町 4 丁 444-1
TEL271-2032

南図書館

〒590-0115 南区茶山台 1 丁 7-1
TEL294-0123

梅分館

〒590-0141 南区桃山台 2 丁 1-2
TEL296-0025

美木多分館

〒590-0138 南区鴨谷台 2 丁 4-1
TEL296-2111

北図書館

〒591-8021 北区新金岡町 5 丁 1-4
TEL258-6850

美原図書館

〒587-0002 美原区黒山 167-14
TEL369-1166

人権ふれあいセンター

図書ホール

〒590-0822 堺区協和町 2 丁 61
TEL245-2534

青少年センター図書室

〒590-0930 堺区柳之町西 1 丁
3-19
TEL228-6331

編集・発行:

平成 22 年 9 月 9 日

堺市立中央図書館

〒590-0801

堺市堺区大仙中町 18-1

Tel:072-244-3811

Fax:072-244-3321

幻の狭山鉄道(近代)

明治の半ばごろ、狭山から平尾・黒山を經由して天王寺に至る狭山鉄道の建設が計画されたことがありました。平尾村の出水弥太郎^{でみずやたろう}が中心となり、1896(明治 29)年、狭山鉄道設立の願書を提出しましたが、逓信省(通信及び交通運輸の行政を総括した官庁)に却下されました。

『美原町史』1巻 美原町 1999 p962～973

いとうしずお 伊東静雄(昭和)

伊東静雄(1906－1953)は長崎県出身の詩人です。京都帝国大学(現在の京都大学)を卒業後、大阪府立住吉中学校に赴任し、生涯を教師として教育に携わりました。1945 年、堺市三国ヶ丘の自宅が空襲で全焼したため、南河内郡平尾村菅生(現在の美原区菅生)の高岡家に疎開。その後、南河内郡黒山村北余部^{きたあまべ}(現在の美原区北余部)に転居し、一時途絶えていた詩作を再開しました。第四詩集『反響』に収録されている「夕映え」には現在も北余部にある十字路に立つ地蔵の祠が詠まれています。

作品『反響』伊東 静雄／著 竹林館 2005 [1947 年刊初版の復刻版]

『伊東静雄日記』伊東静雄／著 思潮社 2010

評伝『詩人伊東静雄』小高 根二郎／著 新潮社 1971

『伊東静雄と大阪／京都』山本 皓造／著 竹林館 2002

『伊東静雄』野村 聡／著 審美社 1996

●美原の歴史・史跡を知る資料

『美原町史』美原町史編集委員会／編 美原町 1987～2004

全5巻。1巻本文編、2巻～4巻史料編、5巻別編

『美原のあゆみ』池下 裕造／編 美原町 1972

古代から昭和 46 年までの美原地域の歴史年表。美原の歴史が一覧できます。

『美原の歴史』第1号～4号 美原町教育委員会 1975～1980

美原町史のもとになりました。第4号には美原地域の明治期の地図や空中写真が掲載されています。

『美原町 歴史散歩』美原町企画課／編 美原町 1984

黒姫山古墳、菅生神社など、美原地域内の史跡が解説されています。

『美原 わが心のふるさと』美原町 2005

美原のすべてについて、コンパクトにまとめられています。

『美原 みどりのまち・水のまち 歴史のまち・文化のまち』美原町 1977

美原地域の文化財や史跡、現存する道標などが写真入りで紹介されています。

『うるおいのある町 1 集』美原町社会同和研究会 1978

『きり絵美原八景 きり絵画家加藤義明が描く』

美原郷土研究会／編 美原郷土研究会 1988

法雲寺、平松寺など、美原の名所が美しいきり絵とともに紹介されています。

『美原かるた』中谷 権二郎ほか／監修 堺市教育委員会 2009

楽しみながら美原の歴史を学べます。1996 年発行のものを改訂しました。

『大阪府史蹟名勝天然記念物』第一冊 大阪府学務部 1974

初版は 1931 年。第一冊に南河内郡の史蹟が収録されており、美原地域の史蹟も多く紹介されています。

『河内名所図会』秋里 籬嶋／著 柳原書店 1975

享和元年刊の復刻。

